

王子総合高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科： 英語 科目： 論理・表現Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書： (BIG DIPPER English Logic and Expression)

教科 英語 の目標：

【知識及び技能】 目的や場面、状況に応じて適切に外国語を活用できる知識及び技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 日常的、社会的な話題について相手の意図を理解したり、自らの考えを表現したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的・自立的に外国語の知識を獲得し、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の知識や技能を身につけるとともに、他国の言語や文化についての理解を深めることができる	得られた知識・技能を活用し、必要な情報を収集し、自分の考えをまとめ、他者に自分の意見を正しく伝えることができる。	国際化が進む中、言葉や文化の異なる人々と互いの立場を尊重し、コミュニケーションを深め、共存していくことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書						
1 学 期	〔表現〕 日本語で省略される主語などに注意して、英語の文を表現できる。 〔話題〕 日常行うことや、天候などについて英語で表現できる。	Lesson 1 はじめに① 「だれが」「～する」をはっきりと			○	○	○	日本語で主語が示されない場合 ② 日本語で「～は」「～が」と表現される語句が、英語では主語に相当しない場合 ③ 天候・時間・距離・明暗などを表す場合には、英語でどのような表現を用いるのかを理解し、コミュニケーションを図る技能を身につけている。		○	○	○	2
	〔表現〕 伝えたい内容を、適切な意味をもつ動詞を用いて英語で表現できる。 〔話題〕 日常行うことや、「～がある〔いる〕」という内容を、英語で表現できる。	Lesson 2 はじめに② 動詞をうまく使おう			○	○	○	a. 日本語を逐語訳的に英語に置き換えるのではなく、表現したい内容に合致した適切な意味をもつ動詞を用いて、正しい英文で表現する。 b. 基本的な動詞の意味を理解し、適切に活用する。a. ②の各項目について、積極的に取り組んでいる。 b. 英語の表現を通して、それに対応する日本語の表現の本質的な意味などに対する理解を深めようとしている。		○	○	○	2
	〔表現〕 名詞が、数えられるか、特定のものであるかなどを意識して英語で表現できる。 〔話題〕 友人や食べ物などの、身の回りのことについて、英語で表現できる。	Lesson 3 はじめに③ 名詞の数などに気をつけよう			○	○	○	a. 名詞の性質や冠詞の用法を理解したうえで文を作り、実際のコミュニケーションで使う技能を身につけている。 b. ポイントとなる名詞・冠詞の用法のほかに、be made from〔of〕, a lot of などの表現を習得している。		○	○	○	2
	定期考査									○	○		1
	〔表現〕 「～である〔ない〕」「～ですか〔しますか〕」などを英語で表現できる。 〔話題〕 友人など、身の回りの人について英語で表現できる。	Lesson 4 My Friends			○	○	○	a. 英語で「肯定」「否定」を表す文や、「疑問文」にはどのような表現を用いるのかを理解している。b. 好きな科目や人物などについて、コミュニケーションを図る技能を身につけている。 、英語では否定語が日本語と比較して前の方に置かれ、否定の意志を早い段階で表現することを理解しようとしている。		○	○	○	2
	〔表現〕 「～する〔している〕」「～した〔していた〕」などを英語で表現できる。 〔話題〕 家族など、身の回りの人について英語で表現できる。	Lesson 5 My family			○	○	○	適切な場面において、①「いつも〔よく〕～する」(現在形) ②「今～している」(現在進行形) ③「過去に～(よく)した」(過去形) ④「過去に～していた」(過去進行形)のそれぞれの表現形式を使いこなす。 予定・計画される行動の内容を述べる表現などを習得しようとしている。		○	○	○	2
	〔表現〕 未来に行うことについて、英語で表現できる。 〔話題〕 余暇の予定や計画などについて、英語で表現できる。	Lesson 6 Pasttime			○	○	○	a. 英語で「未来」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 b. 自分や話し相手の予定などについて、コミュニケーションを図る技能を身につけている。		○	○	○	2
	定期考査									○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
2 学 期	〔表現〕 現在・過去における完了・継続・経験の意味を英語で表現できる。 〔話題〕 自分の町や身の回りの状況について、英語で表現できる。	Lesson 7 My town			○	○	○	a. 英語で「完了・結果」「経験」「状態の継続」「動作の継続」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 b. 自分や話し相手の経験などについて、コミュニケーションを図る技能を身につけている。	○	○	○	2
	〔表現〕 能力・許可・推量などの意味を英語で表現できる。 〔話題〕 先生や学校での生活について、英語で表現できる。	Lesson 8 Our teachers			○	○	○	a. 適切な場面において、can, be able to; mayを用いて「可能」「許可」の意味を表現したり、may, must, can't[cannot]を用いて「推量」の意味を表現したりする。 b. 「可能」「許可」「推量」の意味に注意して、個々の英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。表現を用いるのかを理解している。	○	○	○	2
	〔表現〕 必要・義務や、過去についての推量・後悔などを英語で表現できる。 〔話題〕 催し物や行動・活動などについて、英語で表現できる。	Lesson 9 Visitng Museum			○	○	○	a. 英語で「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔など」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 b. 身近な人に対して提案や必要などを伝えたり、また、身近な人の過去の行動・状況などを推測したりして、コミュニケーションを図る技能を身につけている。	○	○	○	2
	〔表現〕 「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」などを英語で表現できる。 〔話題〕 有名人などについて、英語で表現できる。	Lesson 10 Famous People			○	○	○	a. 英語で「受け身」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 b. 建物などの説明、オンラインショッピングなどの場面で、受け身の表現を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。	○	○	○	2
	〔表現〕 「～される〔されない〕」「～に満足している」などを英語で表現できる。 〔話題〕 読書や感情に関連する事柄などについて、英語で表現できる。	Lesson 11 Reading			○	○	○	a. 英語で「～すること」「～することは…だ」「～する方法」「～するための〔～すべき〕」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 b. 新年の抱負や将来の予定などについて、不定詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。	○	○	○	2
	定期考査								○	○		1
	〔表現〕 「～すること」「～する方法」「～するための…」などを英語で表現できる。 〔話題〕 希望や目標、物事を行う方法などについて英語で表現できる。	Lesson 12 Studying Abroad			○	○	○	a. 「～するために」「～して」などや「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などの意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 b. 依頼や承諾などをする場面で不定詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。	○	○	○	2
	〔表現〕 「～するために」「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などを英語で表現できる。 〔話題〕 助言や頼み事などについて英語で表現できる。	Lesson 13 Adice			○	○	○	a. 「～するために」「～して」などや「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などの意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 b. 依頼や承諾などをする場面で不定詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。	○	○	○	2
	〔表現〕 「～すること」などを英語で表現できる。 〔話題〕 趣味やその他の日常の活動について、英語で表現できる。	Lesson 14 Hobbies			○	○	○	a. 適切な場面において、to-不定詞の副詞的用法を用いて「目的・原因」「判断の理由」などの意味を表現する。 b. 適切な場面において、〈S+V+0+to-不定詞〉の構文を用いて「願望」「使役・許可」「命令・指示・依頼」などの意味や、〈S+V+ 0+原形不定詞〉の構文を用いて「…が～するのを見る〔聞くなど〕」「…に～させる」の意味を表現する。	○	○	○	2
	〔表現〕 「～している〔された〕…」「～しに行く」「～しているのを見る」などを英語で表現できる。 〔話題〕 休暇での出来事などについて英語で表現できる。	Lesson 15 My Vacation			○	○	○	a. 英語で「～している…」や「～された…」と名詞を説明する場合や、「～しながら…する」、「～しているのを…する」などの意味を表すにはそれぞれどのような表現を用いるのかを理解している。 b. 幼いころの思い出や、写真に収められた休暇の情景などについて、分詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。	○	○	○	2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 【 や 】	話 【 発 】 書					
	〔表現〕 2つのものを比べて、「同じくらい〜」「より〜」ということを英語で表現できる。 〔話題〕 動物の特徴や人の行動について、他と比較して英語で表現できる。	Lesson 16 In a Zoo			○	○	a. 身の回りの事象について、<as+原級+as> や <not as+原級+as> を用いて「同じくらい〜である」 や「…ほど〜でない」 の意味を、<比較級+than> を用いて「 …より〜である」 の意味を表現する。 b. 同等比較や比較級を用いた比較表現に注意して、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。	○	○	○	2
	定期考査							○	○		1
3 学 期	〔表現〕 「最も〜」「2 倍の〜」「できるだけ〜」などを英語で表現できる。 〔話題〕 学校での活動などについて、他と比較して英語で表現できる。	Lesson 17 Our Team			○	○	a. 英語で「最も〜である」や、「2 倍の〜」「できるだけ〜」を表すには、どのような表現を用いるのかを理解している。 b. 学校での活動や図表の内容に関して、比較表現を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。	○	○	○	2
	〔表現〕 「〜する人/ 物」「…が〜する人/ 物」などを英語で表現できる。 〔話題〕 近所の人などについて、簡単な説明を加えて英語で表現できる。	Lesson 18 Neighbors			○	○	a. 適切な場面において、関係代名詞を用いて、「人」や「物・事」を説明する。その場合に、関係詞節内での関係詞の働き（主語・目的語）や、先行詞と関係詞節内での動詞の呼応に注意する。 b. 関係詞を省略する場合や、先行詞が前置詞の目的語にあたる場合に注意して表現する。	○	○	○	2
	〔表現〕 「…が〜すること」「…が〜する場所〔時〕」などを英語で表現できる。 〔話題〕 友人の話や場所・時などについて、簡単な説明を加えて英語で表現できる。	Lesson 19 Speeches			○	○	a. 適切な場面において、関係代名詞 what を用いて、「〜すること、〜するもの」や、「いわゆる」「さらに〜なことには」の意味を表現する。 b. 適切な場面において、関係副詞 where, when などを用いて、場所・時などについて表現する。	○	○	○	2
	〔表現〕 事実と異なる状況〔願望など〕を英語で表現できる。 〔話題〕 自分の願望などの仮定の話について、英語で表現できる。	Lesson 20 My Wish			○	○	a. 英語で「現在や過去の仮定」の話をする場合や、「現在や過去と異なる願望」を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 b. 自分が考える願望や仮定の状況について、仮定法を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。	○	○	○	2
	〔表現〕 名詞の働きをする節や、時・理由・条件を表す節を、英語で表現できる。 〔話題〕 プレゼントを贈る場面などについて、英語で表現できる。	Lesson 21 A Birthday Gift			○	○	a. 英語で「〜であること」「〜かどうか」や、「〜するとき」「〜なので」「もし〜ならば」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 b. 日常生活において、改善すべきことや明確でないこと、楽しく感じるることなどについて、接続詞〔複文〕を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。				3
	定期考査						96	○	○		1
											合計
											48